



広重版画より 三島 朝霧

第2393回例会

2024.8.1晴

司 会 南木一仁君

国歌斉唱 四つのテスト ローターの目的

ロータリーソング 「奉仕の理想」
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶

会長 鈴木正二君

8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。先週土曜日27日に静岡労政会館で会員増強セミナーが開催され、2620地区各地から会長・幹事・増強委員長が集まり意見交換をしてきました。詳しくは、岩崎委員長から後ほど報告があります。

昨年度私と加藤幹事が受講し強い印象を受けたRLI(The Rotary Leadership Institute)のPART Iの受講案内が来ました。PART I～IIIまではZOOMで受講しロータリー活動を楽しむために非常に役立つものと思います。下期にもう1周ありますが、ぜひ多数の方に参加してもらいたいと思います。次期会長・幹事は必須で参加しますが、ZOOM開催は日曜日で、9時から16時半くらいで年間日程も決まっていますので取り組みやすいと思います。締切は今日ですので閉会后申し出てください。

来週は夜間例会で、第1回のガバナー補佐訪問で伊東西RCの野村玲三ガバナー補佐がガバナー方針伝達のためにおいでになります。日程調整をして出席していただき、ぜひ元気にこやかな挨拶でお迎えください。

先週の土曜日は会員増強セミナーを途中で抜け、ブケートカイで別の会合に出て6,500歩、日曜日は大学の関係でお茶の水へ行って5,500歩でした。ホームとか駅構内は歩きます。普段は500～2,000歩なので都会の人には負けませぬ。

出席報告

	出席総数	出席率	メー ク	修正率
前々回	37/47	78.72%	39/47	82.98%
今回	35/47	74.47%	会員総数	52名

欠席者 秋元君、上野君、小川君、窪田君、栗原(康)君、杉崎君、須田君、諏訪部君、橋本君、花房君、古屋君、山本君



ゴルフ同好会 会長表彰(前年度)
仲田崇浩君

幹事報告

幹事 加藤憲勝君

1. 本日の例会 卓話は会員増強維持委員長 岩崎健司君です。よろしくお願いします。
2. 次回例会は8月8日(木)18:30呉竹 野村ガバナー補佐公式訪問です。ガバナー補佐と事務局佐藤周さんの2名が卓越になります。
3. 職業社会奉仕委員会より上程された、12月9日チャリティコンサートを主催することが承認されました。
4. 次年度の三島大社祭典のパレードについて、特別委員会の設置が承認されました。

おめでとう

会員誕生日 室伏君
入会記念日 原君

スマイルボックス

◆室伏君、みしまプラザホテルで夏休み親子で絵画鑑賞会と感想を話し合う集いを企画、秋山さんにはお手伝いいただき助かりました。猛暑でスマイルも夏枯れです。

卓話

会員増強維持委員長 岩崎健司君

本日は、さる7月27日に静岡労政会館で開催された地区会員増強セミナーのフィードバックを中心にお話をさせていただきます。

当日は、「会員増強の事例紹介」、「新しいクラブ設立の可能性について」として2回のパネルディスカッションが行われ、その後16グループに分かれパネルディスカッションの内容について分科会形式で討議を実施し、最後に各グループからの発表を行うという形式で実施されました。この新しいクラブとは、主に「衛星クラブ」のことを指しています。

さて、今回のセミナー参加を機会に世界のロータリークラブ会員動向を調べてみました。

2022年の資料ですが、2013年と2022年で比較すると、世界の地域別会員数はアメリカ、カナダ、中米で約6万2千人減少、オーストラリアで10万人、グレートブリテンおよびアイルランドで15万人減少と欧米でかなりの会員が減少しており、唯一、アジアだけが韓国、インドの会員増加により約8万2千人の増加となっているそうです。なぜ、こんなお話をしたかといいますと、RIが推奨する会員増強施策である「衛星クラブ」の設立推奨にはこういった背景があることをご理解いただくためです。

さて、この「衛星クラブ」についてですが、Webでマイロータリー等をご覧くださいと詳しく確認いただくことが出来ます。またロータリーの友8月号にも衛星クラブの説明が記載されておりますので、是非ご覧くださいと思います。

「衛星クラブ」ではスポンサークラブとの違いを出すことが可能です。月最低2回の例会、その他、ロータリーの友の購読といった必須事項を守れば、柔軟な設立が可能となります。次世代会員の囲い込みのための活用。夜間しか参加できないメンバーの為のクラブ、シニア会員の為のクラブ、現会員の

子弟のためのクラブ、特定の奉仕に特化したクラブ等、さまざまなアイデアで「衛星クラブ」を設立することができます。「衛星クラブ」については、分科会終了後の各グループからの発表では、「会のハードルを下げて入会がしやすくなる反面、既存クラブの品格が守られるのか。」「クラブ立ち上げには力のあるリーダーが必要であり、衛星クラブを設立したらリーダーが流出してしまう。」「クラブで精いっぱい。」といったネガティブな意見があった反面、「子供食堂に特化したクラブを作ったら面白い」「伊豆半島全体でやったらどうか。」等の意見がありました。

さて、もう一つのパネルディスカッションである「会員増強の事例紹介」についてもお話をさせていただきたいと思います。伊東西RCの発表では、伊東はエリア特性として移住者（別荘にお住まい）が多い、その方々は時間と経済的に余裕のある方が多い。という事で、移住者をターゲットに勧誘を実施しているといった事例がありました。静岡東RCの発表では、会員60名中8名が女性会員（女性比率約13%）、（ご参考：女性比率について ①2620地区平均約9%②日本クラブ平均約6%③世界のクラブ平均約30%）地元経営者6割 企業の支店長、支社長4割 といった多様性のあるメンバー構成であり、企業の支店長、支社長の中にはその後、出世して社長になる方もいて、そういった方が卓話に参加する等の魅力もあるというお話をされていました。

女性会員が多い理由としては

①女性会員の声掛けによる入会

②女性の退会者が少ない（居心地のよいクラブ）

があるのではないかといた事でした。浜北RCの発表では67名（女性10名）会員の年代構成のバランスの良いクラブで例会に子供が参加等のアットホームな雰囲気があるクラブであり、そんなところが女性会員の維持に役立っているのではというお話がありました。

また人口3万人程度の街で53名の会員 昨年度も3名増員といった成果を上げているクラブもありました。具体的には親子会員制度（正式には後継指名会員制度）を活用し、クラブ独自のルールで親会員の会費を25%ディスカウントしているということでした。

各クラブとも地域の特性に合わせた会員の維持、増強施策を取っていることが、大変参考になりました。

分科会での討議内容を各グループが発表した中で多く聞かれたのは、「現会員が楽しんでクラブの活動をしている事が重要である」「同好会、親睦会を中心にクラブの魅力を向上させ退会者を出さないことが重要である」という意見でした。まさに三島西ロータリークラブの事のように感じながらお話を聞かせていただきました。

当クラブを表す重要なキーワードである親睦第一という事は、会員の維持増強にとっても重要な要素である。だから先輩方々はこれを大事にされている。という事を再確認させていただきました。

さて、当クラブの今年度の目標ですが、昨年度に引き続き、3名の会員増、1名の女性会員増を計画しております。前倒して達成を図りたいと思いますので、皆様方の心にある候補者を是非、ご紹介下さい。

（週報担当：小塚英樹）